

メール にしおか

豊中市立西丘小学校「学校だより」 令和2年（2020年）9月23日発行

NO.12



「メールにしおか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。 <http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/>

参観・学級懇談会～ありがとうございました。

先週に入ってようやく朝晩が涼しくなり、最高気温が30度を下回るようになってきました。これまで9月に入っても厳しい残暑が続き、暑さ指数が危険を示す日が続いていたので、休み時間外で遊ぶことはできませんでしたが、ようやく汗だくになって教室へ戻ってくる元気いっぱいの子どもの姿が見られるようになりました。

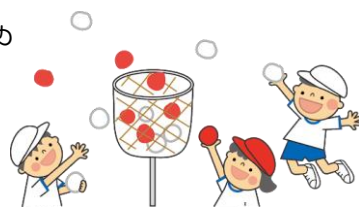


今日から運動会の練習も始まりました。

9月8日・10日・11日と密を避けるために、各学年クラス別に曜日を設定し、参観授業と学級懇談会を行いました。今できる最大限の対策を講じ、下足には学年ごとに記名と体温を書いてもらい、消毒液を置きました。また、授業もワーク

スペースからの参観となりましたが、平日にもかかわらずたくさんの方に参観いただき、本当にありがとうございました。今年度初めて授業の一端を見てもらえて良かったです。

10月3日（土）は運動会です。これまでもお知らせしている通り、低・中・高学年の入れ替え制にして実施します。これまでと全く違う形で行います。運動場とはいえ、単純に計算しても2学年で保護者が480人にもなります。安全にそして安心して運動会が行えるように、PTAの方に力をお借りしながら開催いたします。保護者の皆さまには、お願いやご不便をおかけすることが多々あると思いますが、どうぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。（運動会についてのお知らせのプリントを本日に配布していますので、必ずご確認ください。）



※ 10月の教育相談（臨床心理士の派遣）は、13日（火）と27日（火）の14:00～16:30です。お子さんのことで気になることがある方は、遠慮なく学校までご連絡ください。

あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう



にしおかしょうがっこうの子



にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ところを きたえる 子

床やトイレ、運動場をピカピカにしてもらいました。

これまで毎年夏休みの間に教職員が、何日もかけて教室の床のワックス落としから、ワックスかけまでを汗だくになって行ってきました。今年はPTAの予算から業者委託してもらいました。学校が新しくなってから、こんなにピカピカな床は新校舎に入ってからです。どうしてもきれいにできない床で困っていましたが、2学期を本当に気持ちよくスタートできました。



また、9月5日には校舎のトイレ掃除をしてもらいました。毎日スクールサポートスタッフの方がして下さっていますが、大人が手分けをして掃除をするととてもきれいになります。今は、施設を清潔に保つことがなにより大切だそうです。



さらに、9月19日には、晴天のもと運動場の草ぬきもしてもらいました。運動場も年々雑草が生えてきて、この時期子どもたちに休み時間を使って草ぬき



や葉っぱ拾いなどをしてもらいましたが、さすが大人のパワーはすごい！！スコップを片手に雑草が根こそぎきれいになりました。校内と運動場の清掃、本当にありがとうございました。



被爆体験の聞き取り（9/14）～6年生

「豊中被爆者の会」の伊達さん（88才）、高橋さん（85才）から長崎での被爆体験についてお話を聞きました。今年は体育館と多目的室に2クラスずつ分かれて、距離をとって聞き取りをしました。



ついさっきまでの日常が、たった一つの原爆で失われたこと、目の前で家族を亡くした悲しさ、焼け野原となった町の様子、当時12歳と9歳だったお二人の具体的なお話は胸に迫るものがありました。「これからも語り部としての活動に邁進していく」とのお言葉が印象的でした。今年は戦後75年の節目の年でした。原爆投下直後「75



年は草木も生えぬ」といわれましたが、日本は平和な世の中を築いてきました。今年は8月6日の広島平和の式典を全校児童で見て、あらためて平和について学習しました。6年生は折りづる朝会から平和について学習を深めています。お二人のお話から多くのことを学んでいるようでした。

豊中地区保護司会から教職員と子どもたちへの応援メッセージとして、ご寄付をいただきました。衛生面から給食の時配膳する担任や児童は使い捨てのビニール手袋をつけているので、ビニール手袋を購入させていただきました。ありがとうございました。



全国学力・学習状況調査の結果概要①

今年の調査については、全国的に休校となり、全国一斉に行われることはありませんでしたが、各学校で適宜行うようになっていきます。本校では8月初めに6年生を対象に実施し、学校で採点し8月下旬に各個人に返却しました。

「全国学力・学習状況調査」における本校の結果分析と課題及び今後の取り組みについて以下のとおりお知らせします。この調査結果は学力や学習状況の一部であり、児童の学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭、地域が学力や学習状況に関する課題を共有し、更に連携を深めていくことを目的として、お知らせいたします。

結果の概要（１）教科に関する調査より

国語

- 「漢字を文の中で正しく使う」や「送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使う」設問の正答率が高いです。
- 「目的に応じて本や文章全体の構成を考える」書く力や「叙述を基に様子を捉え、登場人物の気持ちを想像する」読む力は概ねできています。
- ▲「必要な情報を得るために、工夫して取材をしたり、取材したことを基に自分の考えをまとめる力」話すこと、聞くことに課題が見られます。
- ▲「事実と意見を区別して書く」書く力に課題が見られます。



【まとめ】

- ・低学年から目的や意図に応じて情報を集め、根拠を挙げながら自分の考えを整理して簡単にまとめて書いたり、発表したりすることが必要である。
- ・特に説明文などでは、文章全体の構成を意識しながら読むことや、内容を要約して全体をつかんでいくような学習指導を引き続き行っていく必要がある。
- ・読んだことをもとにして話し合ったり、教材文で学習したことを活用し、主体的に題材を選び文章を書いたりするなどの言語活動を深めていく指導をしていく。ここで培った論理的な思考力、表現力は国語科にとどまらず、他教科や総合的な学習の時間、日常生活の中でも活用していくことが大切である。

算数

- 無回答が０で、すべての領域において概ねできています。
- 「数と計算や図形領域についての知識・技能」を問う設問等の正答率が高いです。
- ▲「示された考えを基に、数の相対的な大きさを用いて、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を言葉と式を用いて記述できる」「示された棒グラフを基に、他の観点で表している棒グラフを棒の長さに着目して判断し、判断の理由を言葉や式を用いて記述できる」など、示された説明できる情報や資料を解釈し、成り立つ性質や問題解決の方法を説明したり、別の資料を選びその理由を記述したりする力に課題が見られます。

【まとめ】

- ・基本的な四則計算については定着している。年間を通し継続した更なる計算力アップが必要である。
- ・低学年から系統立てて、なぜそう考えたのか答えに至るまでの過程や理由について説明する活動を授業の中に多く取り入れて、答えだけでなく理由をつけて説明できる力を身につけていく。
- ・数学的に考えたことを説明するための文章力に課題がある。大切なことを落とさずに順序良く整理し、簡潔に「書く」力をつけることが必要である。
- ・このためには各学年における授業改善をより一層進め、さらに系統立てた指導を行い、学力向上を図っていく。

